



図書館職員ら 新聞活用学ぶ

糸満市で新報出前講座

糸満市立中央図書館で9日、本紙記者による出前講座「おでかけりゅうPON！」が開かれ、同館職員ら



切り抜き新聞を作り上げる参加者たち119日、糸満市立中央図書館

約20人が新聞の特徴や役割、家庭や地域で役立つ活用法などを学んだ。

琉球新報社編集局の普久原均次長兼NIE推進室長が、詳報性や一覧性など新聞の特徴に触れながらインターネット上の情報との違いを解説。このほか、権力を監視し、市民に寄り添う社会的役割なども説明した。

ワークショップでは、「食」「環境」「南部」「子ども」のテーマに沿って、グループごとに切り抜き新聞作りに挑戦した。目的の記事を探す情報収集力、レイアウトを工夫する構成力、読み手にアピールするための情報発信力を養った。同館の宮城力館長は「新聞作りを通して情報の扱い方、発信の仕方を学ぶいい機会になった」と話した。